

1 おみやげは、おばあちゃん



- ① ホリノミホ/作
藤本タクヤ/絵
- ② 文芸社
- ③ 1200円
- ④ E

一人暮らしをするおじいちゃんの家へ、はじめて一人で行くことになった2年生のまさし君。おかあさんをはじめ、いろいろな人に見守られながら目的地を目指します。子どもの成長と家族愛を感じられる絵本です。

2 きみがおしえてくれた。



- ① 今西乃子/文
加納果林/絵
- ② 新日本出版社
- ③ 1500円
- ④ E

愛犬の力丸と散歩に出かけたひな子は、公園で、あるおばあちゃんと出会います。力丸を見たおばあちゃんが話してくれたのは、戦争で経験した悲しい出来事でした。戦争の悲惨さ、平和の尊さがペットとのふれあいを通して伝わってきます。

3 ずっとまもっているよ



- ① マリー アン フルイザー/さく
むらかみみづほ/やく
- ② 福音館書店
- ③ 1300円
- ④ E

いろいろな動物たちが、子どもをどんなふうに守って育てているかを紹介する絵本です。精密な絵とやさしい文章で、動物たちの生態を理解するとともに、人間の子どものもまた、大切に守られていることに気付くことでしょう。

4 ゾウの森とポテトチップス



- ① 横塚真己人/しゃしんとぶん
- ② そうえん社
- ③ 1300円
- ④ E

ゾウとポテトチップス？どんな関係があるのでしょうか。実はポテトチップスなどを作るパーム油を生産するために森が破壊され、ゾウやたくさんの動物たちが住む場所を追われつつあるのです。環境問題について考えるきっかけになる一冊です。

5 ちいさな はくさい



- ① くどうなおこ/さく
ほてはまたかし/え
- ② 小峰書店
- ③ 1400円
- ④ E

畑から一人だけはみだしたちいさなはくさい。トラックに乗せられて、やおやへ行く日を夢見ていましたが…。春を待つ頃にぴったりの絵本。こちよいリズムに、読んでいて明るい気持ちになります。

小学校低学年の本

①著者名 ②発行所 ③本体価格 ④請求記号

6 つなみ てんでんこ はしれ、上へ！



- ① 指田和/文
伊藤秀男/絵
- ② ポプラ社
- ③ 1300円
- ④ E

2011年3月11日の東日本大震災の日。押し寄せる大津波のなか、みんなで生き延びた釜石の子どもたちのドキュメントです。自分の命を自分で守った子どもたちの力強さを感じることができる作品です。すべての人に読んでもらいたい一冊です。

7 つばめのハティハティ



- ① 箕輪義隆/絵
寒竹孝子/文
- ② アリス館
- ③ 1500円
- ④ E

わたしたちの身近にいるつばめ。遠い南国から海を渡って日本へ来て、結婚し、子育てをして巣立ち、また南国へ帰っていくという、つばめのくらしが分かりやすく描かれている作品です。様々な角度からつばめが描かれています。

8 どこにいるかな？



- ① 松橋利光/著
- ② アリス館
- ③ 1400円
- ④ E

わたしたちの周りには多くの生き物が潜んでいて、自然と同化しています。

木に止まる鳥、水の中のカエル、草むらに潜む昆虫など、約40枚の写真を使って、少しずつ難易度をあげながら、絵探しができる一冊です。

9 図書館に児童室ができた日 アン・キャロル・ムーアのものがたり



- ① ジャン・ピンボロー/文
デビー・アトウェル/絵
張替恵子/訳
- ② 徳間書店
- ③ 1600円
- ④ E

自分の考えをしっかりと持ったアン・キャロル・ムーアという女の子は、ニューヨークで学び、児童図書館サービスの先駆者の一人となります。ムーアの生涯を通して、図書館児童室の歴史が語られている一冊です。

10 はこちゃん



- ① かのゆうこ/文
江頭路子/絵
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ E

一人一人の名前には、親が子どもの幸せを願う気持ちが込められています。「葉子」という名前の由来を通して、女の子の揺れる心と名前に込められた親の愛情が描かれています。親子の絆を感じさせてくれる一冊です。

11 ぼくだけのこと



- ① 森絵都/作
スギヤマ カヨ/絵
- ② 偕成社
- ③ 1400円
- ④ E

兄弟の中でえくぼができるのは、ぼくだけ。仲良し7人組の中でさかだちができるのは、ぼくだけ。たくさんあるぼくだけのこと。今日はどんな「ぼくだけのこと」が見つかるかな。自分だけのことを探したくなるような明るい気分になる絵本です。

12 ぼくは ニコデム



- ① アニス・ラッシュ/文
ステファニー・オグソー/絵
- ② 光村教育図書
- ③ 1300円
- ④ E

小さくて弱虫なニコデムは、街で足を踏まれたり、友達にビー玉を取られたりしてしまいます。そのたびに、大きくて強いスーパーニコに変身したいと思うのですが…。なりたい自分を思い描き、悩みと向き合おうとする子どもたちを応援したくなる作品です。

13 アイちゃんのいる教室



- ① 高倉正樹/ぶん・しゃ
しん
- ② 偕成社
- ③ 1200円
- ④ 37タ013

アイちゃんはとても明るい女の子。得意なことも、苦手なことも、全力で取り組みます。そんなアイちゃんの口ぐせは「あしたもがんばっていいですか」。ダウン症のアイちゃんがクラスの友達と過ごす学校生活を紹介した作品です。

14 さいこうのスパイス



- ① 亀岡亜希子/作・絵
- ② PHP研究所
- ③ 1100円
- ④ 91カ013

リスのぼっちゃんは、なにを食べても「まずい」と言います。シェフのおおかみはぼっちゃんが満足する料理を作ることができるのでしょうか。そして、「さいこうのスパイス」とはいったい何でしょうか。大人にも読んでいただきたい、先が気になるストーリーです。

15 がんばれ ゆうくん 一年生



- ① 西本鶏介/作
すぎはらともこ/絵
- ② 鈴木出版
- ③ 1100円
- ④ 91ニ013

一年生のゆうくんは、背が低くてかわいい顔をしているので、よく幼稚園の子に間違われてしまいます。怖い子になったら小学生らしく見えるかなと思うゆうくんですが、最後にはすてきな一年生の姿を見せてくれます。